

事業計画書

①団体名	(株) 浅原青果 備中を美味しく食べよう倶楽部		
②テーマ区分	○指定テーマ ( 食と農をつなぐかけはし推進活動) ・自由テーマ		
	該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。		
③事業名	<sup>びっちゅう</sup> <sup>ちいまでんとうしょくぶんか</sup> <sup>ほっしん</sup> <b>備中の地域伝統食文化の発信</b>	④これまで の採択回数	2 回
⑤現状及び課題	<p>備中地域で作られてきた食材の中には、生産者がいなくなったため入手が難しかったり、備中食材を使おうと思っても入手方法がわからないため利用に繋がらなかったりする状況がある。</p> <p>また、家庭でもばら寿司を作らないといった家庭が増えているように伝統食が家庭から消えて行きつつある。</p> <p>このままでは、備中地域の食材がなくなったり、伝統料理が継承されなくなったりする恐れがある。</p> <p>備中地域にまつわる食に関する魅力を伝えるとともに生産者と消費者（飲食店、個人など）間の農の新しい流通の仕組みを作り、備中地域特有の食材や伝統食を伝承して、地域を活性化する必要がある。</p> <p>前年度事業により、地域の年間の食材や調理方法が把握できた。今回はそれを備中地域や他地区に広く知ってもらうこと。この取組が備中だけではなく、備前や美作にも広がる必要がある。</p>		
⑥事業内容	<p>平成30年度事業で把握した備中地域の年間の食材を活用した調理のレシピ及び、新たに備中膳のレシピを作り、備中地域や他地区の方に広く知ってもらう。</p> <p>備中の食材が利用できるように流通の仕組みを作る。</p> <p>・ <b>備中地域食サミット（備中地域食の展示）の開催</b>  「県外から見た岡山の食の状況、これからの岡山の食について」をテーマに「食サミット」を開催し、備中地域の食文化や食にまつわる魅力を伝える会を開催する。</p> <p>伝統料理というのは現在のニーズにあっていない場合があるため、単に復活させるだけでなく、新しくニーズにあった食材や調理方法を発信する。</p> <p>平成30年度事業で作ったレシピなどを配布する。（ネット上）  備中弁当つきチケットを販売する。  来場者を増やすため、マルシェと連動しマルシェで使える100円券を配布する。</p> <p>・ <b>備中女史マルシェの開催</b>  直接農業生産者に出店してもらい（30程度）、農産物などを販売するマルシェを開催する。この中で備中弁当も販売する。</p>		

農業生産者と消費者（料理店や個人など）が直接会うことで、生産者から消費者へは食材の魅力や調理法や入手の仕方について、消費者から生産者へは食材への関心度合いなどを直接聞くことができる場を持つ場とする。（これまで備中の食材の入手方法がわからないことでその料理の提供ができなくなった事例あり。）

備中地域食サミットと同時開催

・ **備中膳（備中弁当）のレシピ提案**

備中膳を考案・プロデュースする。

目的：備中の魅力的な旬の素材を使った料理でできた膳のレシピを作る。

備中地域の農業生産者と飲食店等との流通の仕組みを作ることで、飲食店で備中の食材を使った料理の提供ができる。

・ **ペーパーランチョンマットを作成し、備中膳に添える。**

備中膳にまつわるストーリー（背景＝その土地の昔の人の暮らし・歴史や気候など）をランチョンマットに表し、その料理への関心を高める。備中膳のPRに活用する。

※備中膳は試験的に矢掛でランチに盛り込む予定。

30年度の地域食材を使った料理教室でのメニュー、その情報を収集したりサーチシート（地域の食文化について）が活用できる。

・ **備中女史 会の創立準備**

前年度のメンバー14人は、農業女子、ホテル女将さん、飲食店経営、地域おこし協力隊、料理研究家などの様々な仕事を持っており、出身地も県外の人が多く、地域の食を客観的に観察することができるメンバーである。この繋がりをもとに会の創立を目指す。

それぞれの立場で、広域的に「備中の食で結び、発信」していくことを会の目的とする。

**「食サミット(食の展示)」「備中マルシェ」「備中膳・備中弁当」を通し、備中の魅力を伝える**

若い世代にも地域の食材や伝統料理に興味を持ってもらう。

実際に備中弁当や備中膳を食べてもらう。

ネット上や食サミットで配布したレシピを家庭で作ってもらう。

「備中マルシェ」で備中地域の農業生産者と飲食店・消費者間  
が知り合うことにより備中の食材の流通の仕組みを作る。地域食  
材の消費を増やす。

⑦事業目的  
(目指す直接の結果)

	<p>飲食店などが備中の食材を入手したいときに入手できる情報を交換する（備中女史マルシェで生産者に入手方法を聞く。連絡先を入手する）</p> <p>備中の食材を使った料理に興味関心を持ってもらう</p> <p><b>広域的に「備中の食で結び、発信していく」備中女史の会を設立する。</b></p>
<p>⑧今年度期待される成果 (短期アウトカム)</p> <p>その活動で得られる利益や変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民局補助事業にたよらない運営をする仕組みができる。備中マルシェを各地域で毎年開催するための組織づくり。その仕掛けを点から面へと広げるための組織ができる。</li> </ul> <p><b>→備中女史の会創立・自立した会の運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備中膳のレシピ、ペーパーランチョンマットを活用して地域の食材・料理について情報発信ができるツールができる。</li> </ul> <p><b>→備中地域の食の豊かさを伝えるために、地域に根差す食材を使った料理や伝統料理を継承していく活動につながる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店等から地域の食材の注文が入るなど地域食材の需要が増える。</li> </ul> <p><b>→地域の食材の生産量の増加</b></p>
<p>⑨将来的に期待される成果 (中・長期アウトカム)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備中地域内で備中マルシェを各地持ち回りで開催できるようになることによって備中の取り組みが広がる。いずれは全県に広げ、岡山県内の食の豊かさを広く広報できる。</li> <li>・ 食の流通の仕組みを作る事で、備中ならではの食材を使う事が可能となる。食と観光、そして農の新しい流通を作っていくことができ、地域活性化の役に立つことができる。</li> <li>・ 岡山ブランドは「白桃」と「バラ寿司」だけではないことを全国に伝え、岡山の地域活性化に繋がる。</li> </ul> <p>※特に今でも備中女史は様々な職業のメンバーで構成されていることから、様々な情報交換やアイデアが出されることが期待できる。</p>
<p>⑩翌年度以降の事業展開の予定</p>	<p>備中女史会の創立に伴い、備中地域7市3町村により、持ち回りで、「備中マルシェ」の開催をしたい。いずれ全県下で展開したい。</p>

<p>⑪事業実施に 関連する活動実績・アピールポイント</p>	<p>前年度の事業で、7地域で料理教室を開催したことにより、各地域で様々な職業を持ち、他県からの移住者のメンバーを集めることが出来た。多方向からの視点を得ることが出来るようになり、ブレストすると新しいアイデアの広がりが大きくなった。</p> <p>また、地域でリサーチすることにより、食材と歳時に合わせた地域の伝統食も把握できた。さらには1シーズンではあるが、伝統食レシピをより現代に合わせたレシピに変えることで、家庭での食だけではなく、地域の新しい伝統料理にもなりえる料理を創作できた。</p> <p>県民局との連携により、7地区それぞれの行政機関との繋がりができ、各地域のリーダーを中心とした活動がしやすくなった。</p> <p>今後は、それぞれのリーダーが職業や地域に合わせたやり方で「伝統料理教室」など、地域の料理を伝承してくれる、食の地域コミュニティができあがるのが期待できる。</p> <p>備中女史の会を創立することにより、備中全体を1つの地域とした情報発信ができる素地ができている。</p>
<p>⑫想定される役割分担</p>	<p><b>【団体】</b>  (株)浅原青果 備中を美味しく食べよう倶楽部  備中女史(仮) サミット運営、備中マルシェ運営、備中膳の開発</p> <p><b>【県民局】</b>  広報、各行政機関との調整</p> <p><b>【その他】</b></p> <p><b>【理由・期待できる相乗効果】</b>  今までの活動における実績や情報、人の輪をさらに横繋がりへと広げる。</p>

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑥事業内容」欄は、それぞれの活動について課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法なども記入してください。
- 3 継続事業は「⑪事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄に昨年度までの採択事業の主な実績・成果も記載してください。
- 4 「⑫想定される役割分担」欄は、協働協定書等に基づき提案団体及び備中県民局、その他の役割を記入してください。